

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2371501038
事業所名	グループホームあさひ名東

【重点項目への取組状況】

重点項目①	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：2）	評価
	自治会の役員会では、ホームの案内や認知症のケアの仕方と話したり、地域行事に参加の際に認知症の相談を受ける等の交流が図られている。コミュニティーセンターで年2回習字の発表会を開催し利用者も見学に行き、地域の人との交流を深めている。ボランティアでは習字、紙芝居、歌、詩吟等定期的に訪問があり、利用者の楽しみになっている。また、子供110番の受け入れもしている。	○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：3）	評価
	運営推進会議は2カ月毎に自治会役員、家族、民生委員、いきいき支援センター職員等の参加を得て開催され、ホームの状況や活動、行事内容を報告している。会議では地域の情報や助言等が得られ、参加者の民生委員の協力により習字の発表会をコミュニティーセンターで年2回開催している。	○
重点項目③	市町村との連携（外部評価項目：4）	評価
	区役所には書類関係の手続きや相談等で出向き、協力体制が築かれている。総務課の協力を得て新設したコミュニティーセンターで、利用者の書いた習字の発表会が開催されている。市主催の研修に職員は参加し、勉強会で他の職員に発表し共有されている。	○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：6）	評価
	利用者からは日々の関わりから聞き出し、家族からは面会時に意見・要望が多く聞き出せるようにコミュニケーションを図っている。出された意見・要望は苦情相談用紙や連絡ノートに記入し、職員間で話し合っ共有され速やかな対応に努めている。ホーム便りを郵送する際に、利用者個々のコメントや写真が同封され日頃の生活の様子を知らせている。	○
重点項目⑤	その他軽減措置要件	評価
	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	○
	○運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。	○
	○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	○
総合評価		○

1. 外部評価軽減要件

- ① 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。
- ② 運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。
- ③ 運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。
- ④ 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況（外部評価）が適切であること。

2. 外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目	確認事項
2. 事業所と地域のつきあい	(例示) ① 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ② 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
	(例示) ① 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 ② 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取り組みを行っている。
4. 市町村との連携	(例示) ① 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ② 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
	(例示) ① 家族会を定期的（年2回以上）に開催している。 ② 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③ 家族向けのホーム便り等が定期的（年2回以上）に発行されている。

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
総合評価	×	×	○	○	○	○	○				